

IPH工法 積算ソフト

かんたんマニュアル

一般社団法人 IPH工法協会

 SGエンジニアリング株式会社

操作の流れ

1.積算システムを起動する

2.設計書を開く

新規に設計書を作成

3.基本情報を入力する

歩掛・単価・工事情報の入力

4.直接工事費を入力する
(土木)

内訳表・単価表の入力

5.単価表の条件を設定する
(土木)

条件を設定して単価表を計上

6.直接工事費を入力する
(建築)

内訳表・単価の入力

7.経費の計算をする

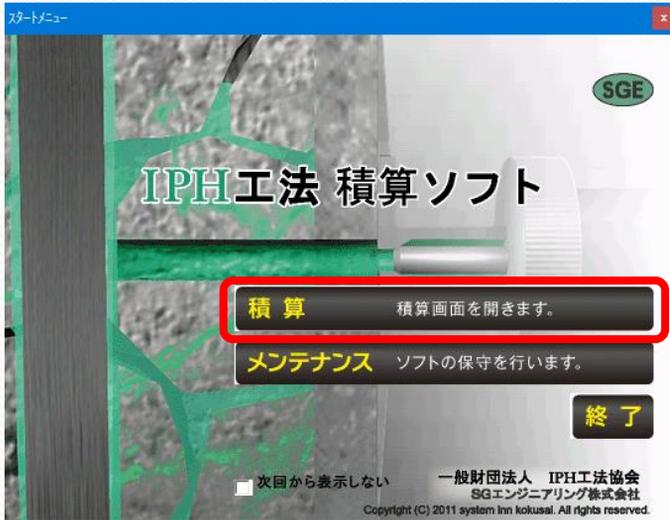
経費の計算、金額の補正

8.設計書を印刷する

9.設計書を保存する

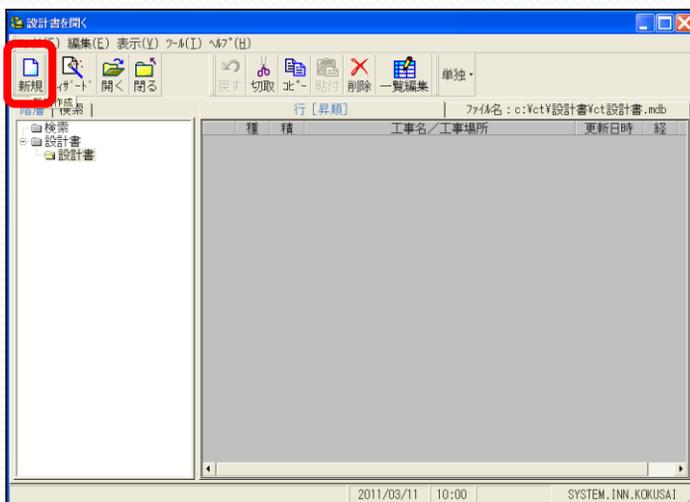
10.作業の終了

1. 積算システムを起動する



「積算」ボタンを押します。

2. 設計書を開く



「新規」ボタンを押します。

既存の設計書を編集する場合は
目的の設計書の列をダブルクリック
します。

3.基本情報を入力する

基本入力: 計算設定[標準]

単価メニュー(I) 設定(S) 設計書(P) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

表紙 | 表紙備考 | その他

次へ

①~⑤

工程 土木

年度 2018

歩掛年度 2018

地区 東京都

基本単価

単価詳細を表示

⑥

2018/07/12 13:55 2018.500.0

「工程」から順に選択肢が開きます。

①表示された中から工程（土木／建築）を選択します。

②表示された中から歩掛の年度を選択します。

③表示された中から歩掛の世代を選択します。

④表示された中から県単価世代を選択します。

※表示がない場合は⑤へ

⑤表示された中から地区（都道府県）を選択します。

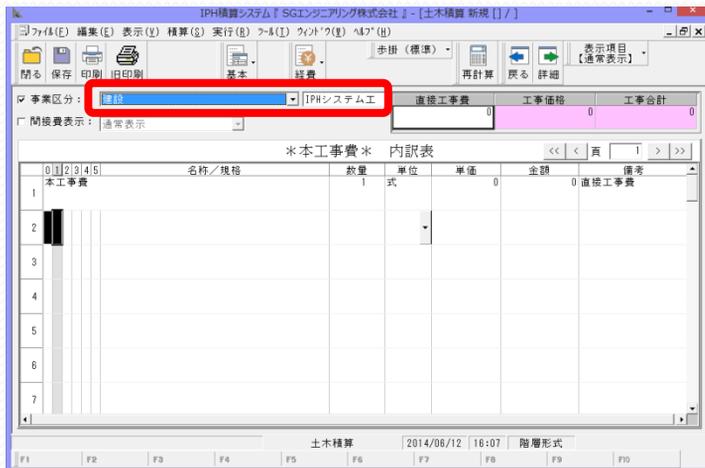
⑥工事名称を入力します。
必要に応じて工事場所を入力します。（※空白でも大丈夫です）

⑦基本情報の設定が完了したら
「次へ」ボタンを押します。

工程が「土木」の場合は、p.5「4. 直接工事費を入力する（土木）」へ進みます。

「建築」の場合は、p.7「6. 直接工事費を入力する（建築）」へ進みます。

4.直接工事費を入力する（土木）



「事業区分」の中から「IPHシステム工」を選択します。

※初期値で選ばれています。

本工事費 内訳表				
1	2	3	4	5
名称/規格	数量	単位	単価	備考
1	1	式	0	直接工事費
2				
3	1	式		IPHシステム
4				
5				
6				
7				
8				

内訳名を一覧から選択していきます。

本工事費 内訳表				
1	2	3	4	5
名称/規格	数量	単位	単価	備考
1	1	式	0	
2	1	式	0	IPHシステム
3	1	式	0	構造物補修工
4	1	式	0	IPHシステム工
5				
6	1	式		B2KIPH-0300 下地処理
7	2	式		B2KIPH-0301 断面修補注入
8	3	式		B2KIPH-0301 浮き補修注入
9	4	式		B2KIPH-0301 断面補修注入
10	5	式		B2KIPH-0302 ひび割れ補修注入
11				

レベル3の内訳まで選択します。

5. 単価表の条件を設定する（土木）

レベル4の内訳（単価表）は複数の作業（単価表）により構成されています。

複数の明細行（単価表）の条件を設定しています。

白い明細行（未確定の単価表）をダブルクリックして開きます。上から順番に自動的に選択肢が表示されたり、入力用の計算機が表示されます。

設定が終わると「OK」ボタンを押して確定します。

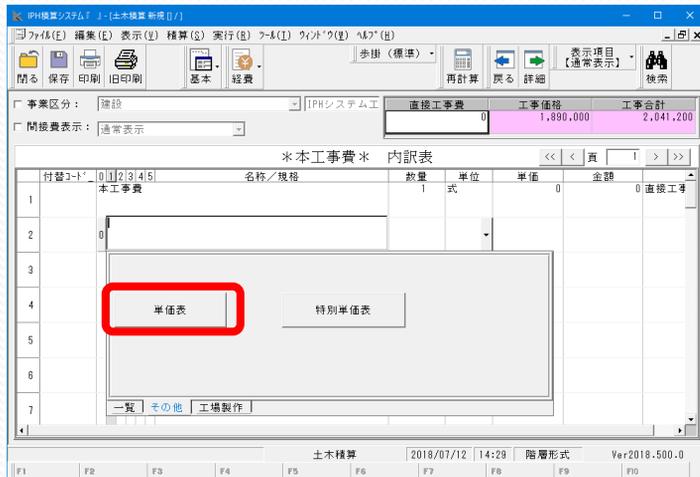
設定が終わった個々の単価表の列は黄色に変化しています。

「OK」での確定後は直工画面にて数量を入力します。

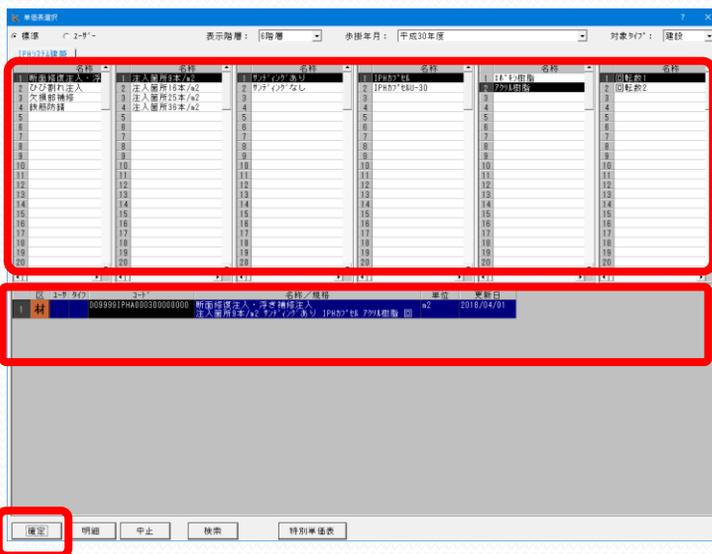
※計上する必要のない単価表に関しては、「数量」の列をダブルクリックします。歩掛設定画面が開きますので、最優先に「0」を入力して「OK」ボタンを押してください。

一通り直接工事費の入力が終わりましたら、p8「7. 経費の計算をする」に進みます。

6. 直接工事費を入力する（建築）



「単価表」ボタンをクリックします。



画面上段の階層にて、施工条件に該当する階層を指定します。

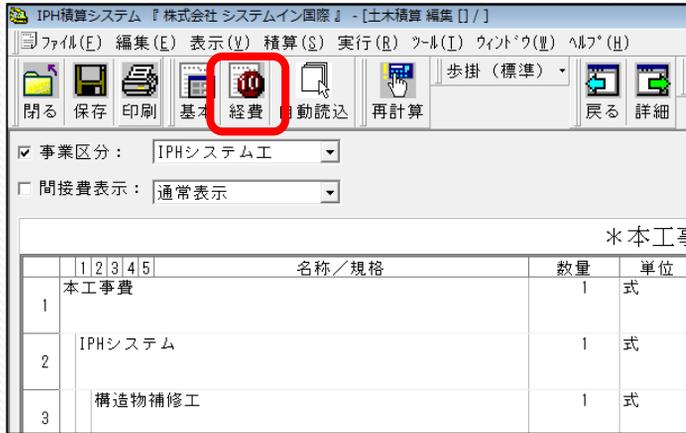
階層を指定することで、該当する歩掛単価が画面下段に表示されますので選択し、「確定」ボタンをクリックします。

一通り直接工事費の入力が終わりましたら、p8「7. 経費の計算をする」に進みます。

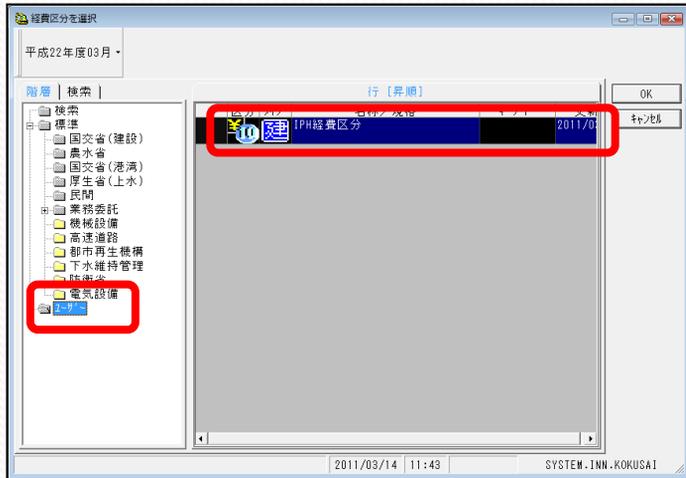


※材料単価を確認する場合は、基本入力画面にて工種を「土木」に切り替えてご確認ください。

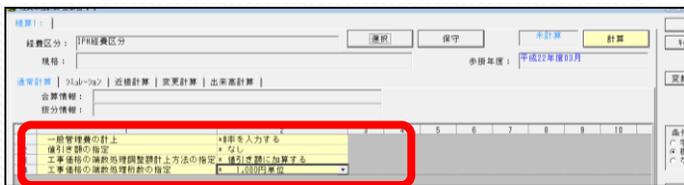
7.経費の計算をする



直工入力画面で「経費」ボタンを押すと経費の計算をすることができます。



経費区分を設定します。
ユーザーフォルダの中に「IPH経費区分」があります。



補正の設定をします
IPH経費区分では「一般管理費率」を入力するだけです。その他の項目は必要に応じて変更してください。

通常計算 | シミュレーション | 近接計算 | 変更計算 | 出来高計算 |

合算情報:

按分情報:

積上実	名称	規格	単位	設計金額
1	直接工事費			245,600
2	一般管理費	245,600×50.00%	式	122,000
3	値引き額		式	-600
4	工事価格			387,000
5	消費税		式	18,350
6	工事合計	387,000×5.00%		385,350
7				0
8	請負金額			0
9	請負消費税		式	0
10	請負工事合計			0

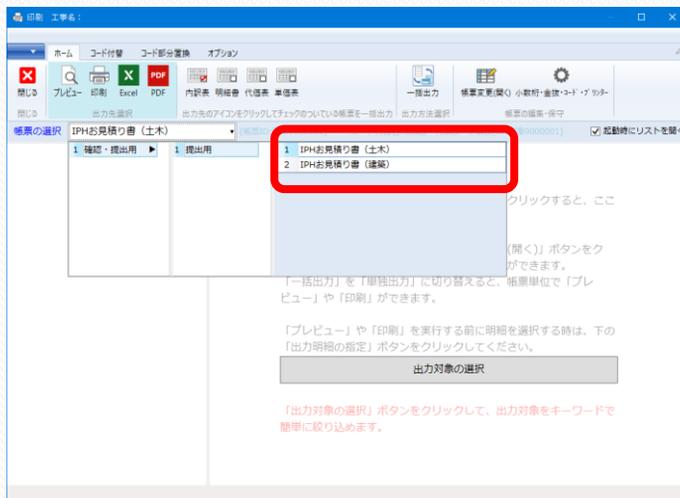
「計算」ボタンを押すと経費の計算が始まります。

確認して問題がなければ「OK」ボタンを押します。

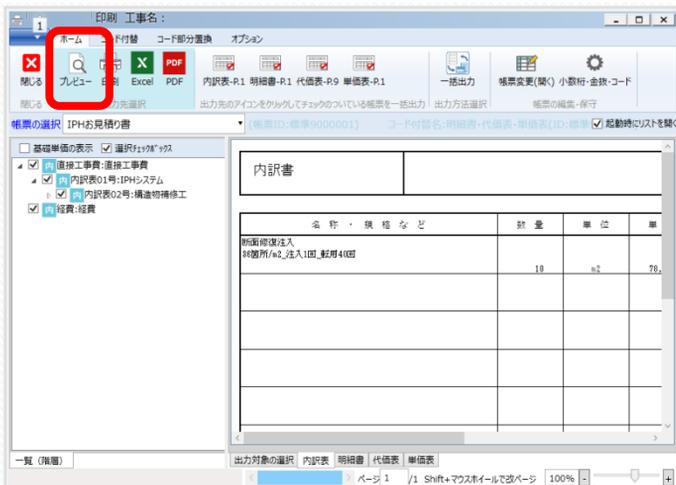
8.設計書を印刷する



直工入力画面で「印刷」ボタンを押します。



まず、帳票パターンを選びます。
土木の場合は「IPHお見積り書（土木）」、
建築の場合は「IPHお見積り書（建築）」
をクリックします。



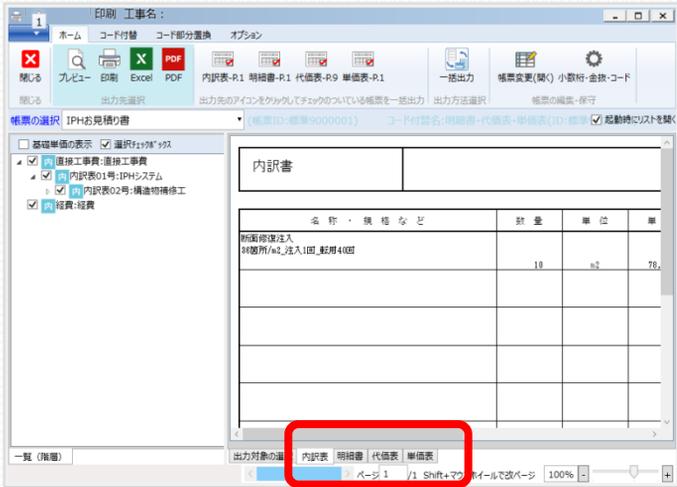
次に、「プレビュー」ボタンを押します。
印刷のイメージが表示されます。

※エクセルで出力する場合
まず、「エクセル出力」に✓を付けます。

次に、印刷の時と同様に帳票パターンを選
びます。

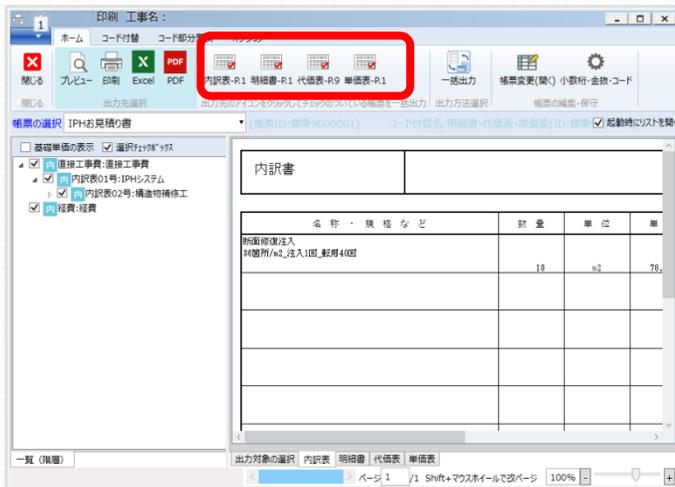
最後に、「出力」ボタンを押します。

8.設計書を印刷する



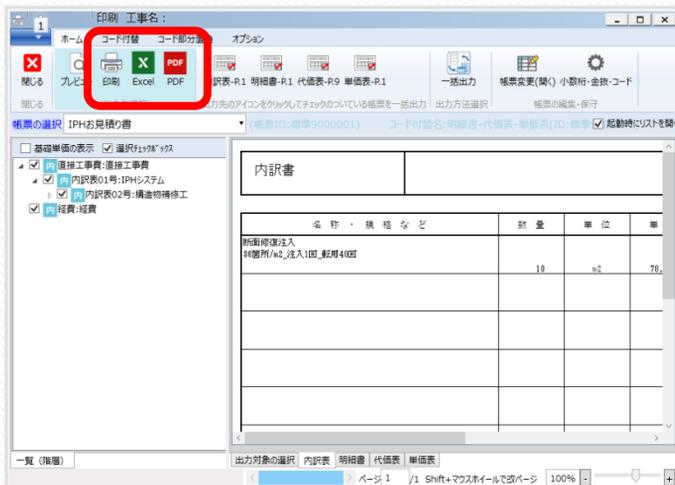
「内訳表」「明細書」「代価表」「単価表」タブをそれぞれクリックすると、内容を確認することができます。

(※「IPHお見積り書(土木)」の場合)



「内訳表」「明細書」「代価表」「単価表」の中で出力したくないものがある場合は該当の箇所をクリックし、赤いチェックを外すことで出力されなくなります。

(※「IPHお見積り書(土木)」の場合)



出力したい様式により、該当のボタンをクリックします。

「印刷」・・・

プリンタより用紙が印刷されます。

「Excel」・・・

Excelファイルで出力されます。

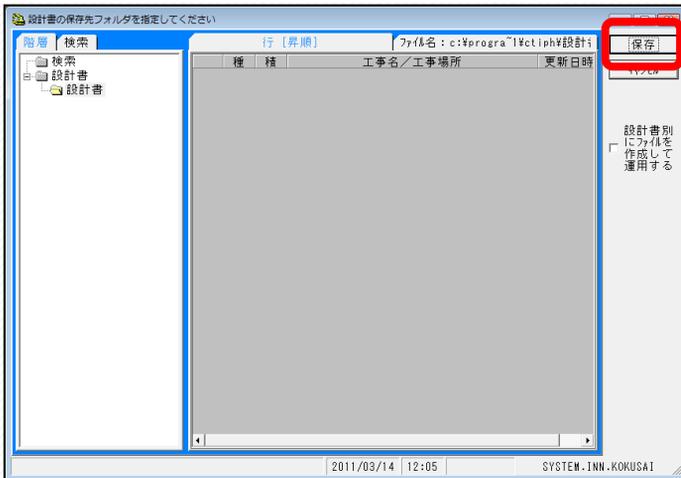
「PDF」・・・

PDFファイルで出力されます。

9.設計書を保存する

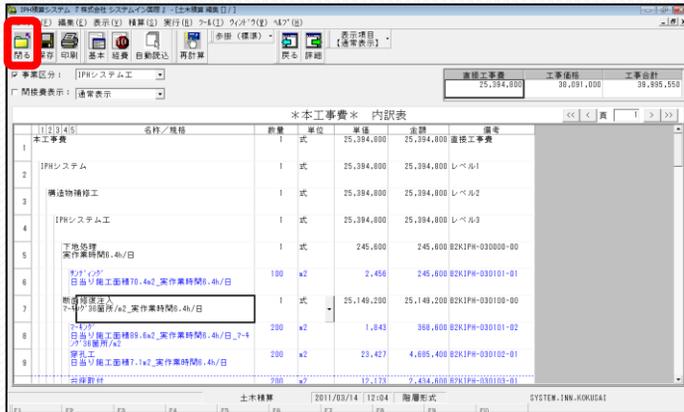


直工入力画面で「保存」ボタンを押します。

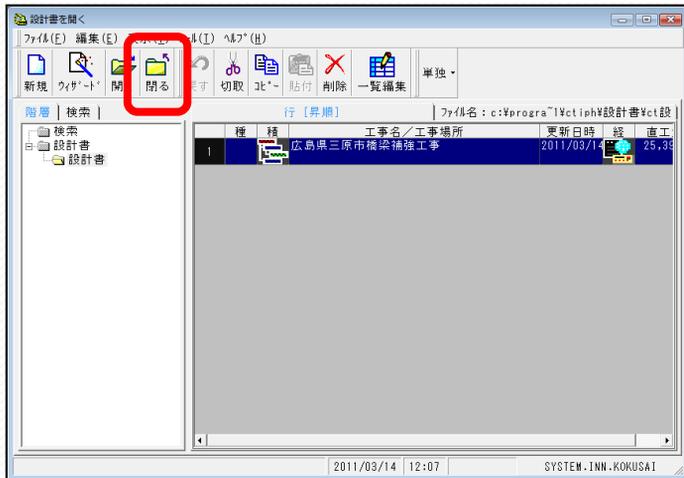


フォルダを指定して「保存」ボタンを押します。
左側の、階層が表示してある場所で右クリックすると、フォルダの作成ができます。

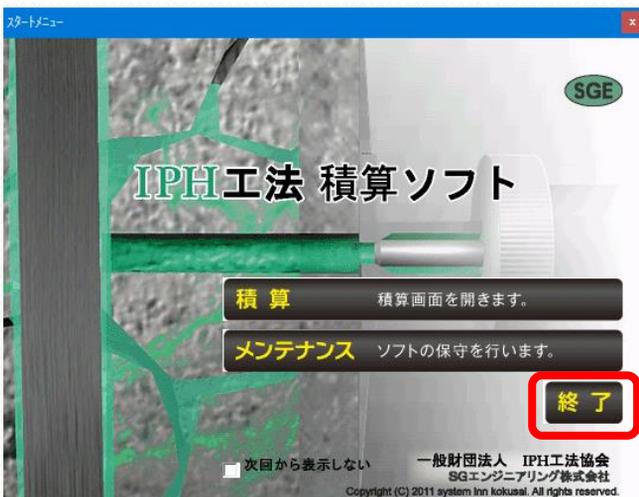
10.作業の終了



直工入力画面で「閉る」ボタンを押します。
保存されていない時、保存を促すダイアログが開きます。



「閉る」ボタンを押します。



「終了」ボタンを押します。